

<p>第34回 (2008.4.25,5.2)</p>	<p>分類の一般概念と分類理論 黒橋禎夫教授 (情報学研究科)</p>
<p>【第3回：講義】2008.04.25</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 分類の演習 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 各自の基準で分類してみよう。 なす、新聞、ほうき、キカイダー、にわとり、リンゴ、学生、いす、トマト、コンピュータ、ピラニア、テレビ、掃除機、くじら 2. 分類の諸問題 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 分類は、視点・観点によって異なる→「1.分類の演習」の結果も異なる ➤ 個々の存在は必ず他のものと似た要素を持っており、様々な観点から分類の対象となりうる。(家族的類似性) ➤ 分類と、言葉・文化との関係 言葉は概念と結びついている 文化が概念、ひいては分類に影響を与える ➤ オーバーラッピング(従来の区分を越えた、新しい区分範囲を切り開こうとするもの。) 百貨店の売り場 地下：食品、1階：化粧品、2階、洋服、… スキーの売り場 スキー用品、ツアー予約、チェーン、道路地図、健康飲料、… 3. 動植物の分類 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 動植物の分類 人為分類(アリストテレス)、類型分類(アダンソン)、系統分類(ラマルク) 4. 図書の分類 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 図書の分類の歴史 18世紀までは、個人規模の独自の分類で図書が配架されていたが、公共図書館設立などの社会的背景により、より普遍性のある分類法が必要となった。 ➤ 十進分類法(デューイ、国際、日本) ➤ コロン分類法(ファセット) 5. ことばの分類 <ul style="list-style-type: none"> ➤ シソーラス 専門用語のシソーラス 自然言語処理でのシソーラスの利用 自然言語の類似度を測るのに使う 6. 分類の数学的理論 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 数量分類学 特徴ベクトル、類似度、クラスタ分析 ➤ 情報検索での応用 テキストの特徴ベクトル表現→類似度計算 (検索エンジン) ➤ 転置インデックス、語の頻度 (TF) と全文書数 (IDF)、PageRank、アンカーテキストの利用 <p>【第4回：演習】2008.05.02</p> <p>会場：メディアセンター203,204</p> <p>同時中継は行わず、203,204両方の教室でそれぞれ一人の担当者が司会をしながら演習を行った。</p> <p>出席者：101名</p> <p>配布資料：黒橋先生にweb上に作成していただいた演習ページをまとめたもの。 図書のタイトルページと目次ページの情報は、去年と同様web上でpdfファイルが見られるように演習ページにリンクを貼った。</p> <p>時間配分</p> <p>13：00～13：15 解答方法、提出方法の説明。</p> <p>13：15～14：10 演習 (質問については適宜アナウンスでも回答)</p> <p>14：10 web アンケートと自由解散アナウンス</p> <p>14：25 提出方法等再度説明</p>	